

# 令和6年度 「志教育」 全体計画

様式1

宮城県田尻さくら高等学校

校 訓
自律 進取 誠実

本校の教育目標
自主自律の精神の育成を目標として、学校内外のあらゆる生活場面を通じて豊かな個性の伸長につとめ、真理を探究し、自発的学習意欲を高め、社会で有用な人材の発掘に努める。

生徒の実態、教師の願い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・純朴で何事にも真面目に取り組む生徒が多い。</li> <li>・コミュニケーション力と社会性を身に付けてほしい。</li> <li>・一人一人が進路に目覚め、社会に飛び立つという気持ちを持ってほしい。</li> <li>・学校生活を通して最後までやり抜く力を付けてほしい。</li> </ul>

保護者や地域の願い
本校へ寄せる保護者や地域の関心や期待は高く、教育活動に対する理解は深い。生徒一人一人が自律できるように協力を惜しまない。

「志教育」の目標
生徒一人ひとりが唯一無二の個性を発揮し、自己発見・自己実現するに至る能力を育てる指導・支援を行う。 (1) 生徒の学力を最大限に伸ばし、一人ひとりの生徒が適性・能力・希望に応じた学習を深め、多様な進路目標を実現させるように努める。 (2) 自己理解と進路研究により、将来の展望に立った進路計画と選択が果たせるよう体系的な指導を充実させる。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
様々な人々との関わりをとおして他人を思いやる心を養い、適切なコミュニケーション能力を身につけ集団生活を送れるようにする。	社会人によるキャリアセミナー・進路志望別見学会・インターシップ等を通じて、自分の進路適性を発見させ、その実現に向けて真剣に考えさせる。	地域との交流やボランティア活動に積極的に参加させ、社会の一員としての自覚を持たせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	基礎基本となる各教科の知識と技術を身につけさせ、それがいかに社会に出たときに必要かを理解させる。
道徳	自分を大切にするとともに他者を思いやり、適切な言語や行動によって社会活動に参画できる道徳的実践力を育成する。
総合的な探究	社会人によるキャリアセミナー・職場見学・オープンキャンパス参加・インターシップ等を通じて、自ら主体的に学ぶ姿勢を身につけさせるとともに、将来の職業について考えさせる。
特別活動	自治会の一員としての自覚をもち、積極的に活動に参加することによって、問題解決能力や集団の中での協調性を養う。
その他	

各学年の取組内容	
1年	①新入生オリエンテーション ②進路希望調査 ③「進路の手引き」について ④進路別見学会 ⑤卒業生の話を聞く会 ⑥トライアルセミナー
2年	①進路希望調査・進路ガイダンス ②「進路の手引き」について ③インターシップ ④卒業生の話を聞く会 ⑤トライアルセミナー ⑥求人票・履歴書・願書等の指導 ⑦ソーシャルスキルトレーニング
3年	①進路説明会・進路希望調査 ②求人票・履歴書・願書等の指導 ③就職面接練習・進学面接練習 ④進学課外講習 ⑤各種セミナー ⑥就職内定者学習 ⑦課題研究

家庭との連携
PTA活動や学校評価・授業評価などの機会を通じて情報交換を図り、社会に貢献できる人材の育成に努める。

地域・企業との協働
地域ボランティア活動・社会人によるキャリアセミナーやインターシップ等を通し、望ましい職業観の育成を図る。